

平成 27 年度
NO. 4
6 月 30 日発行
7 月号

仲町だより

なかよく
まなぼう
ちからいっぱい
練馬区立仲町小学校

経験を生かす

校長 矢島 直行

早いものであと3週間で夏休みです。先日行われました本年度最初の学校公開には、大勢の方にご参観をいただきありがとうございました。日頃学校で頑張っている子供たちの様子を見ることができたのではないのでしょうか。

子供たちは4月からいろいろな教育活動を積み重ねて大きく成長しました。その中の一つとして先日行いました全校オリエンテーリングがあります。全校児童が縦割り班で城北中央公園に行き、班ごとにチェックポイントをまわりました。どの班も楽しく過ごすことができました。

6年生は、最高学年として班のリーダーとしてみんなをまとめようと頑張る姿

5年生は、6年生を支えようと取り組む姿

4年生、3年生、2年生は、上級生の話をよく聞き下級生と仲良く行動する姿

1年生は、初めての経験でしたが上級生の話を聞いて行動する姿

各学年の子供たちが活躍する姿を見ることができました。

オリエンテーリングでは、順調にゴールをすることができた班もありました。一方、なかなかチェックポイントを見つけることができずに時間がかかってしまった班もありました。何事も最初から思うようにうまくいく人はいません。時には失敗をすることがあるかもしれませんが、「経験を生かす」ことが大切です。

「班で素早く行動するためにはどうしたらよいか」「集団で行動するとき、気を付けることは何か」「みんなが楽しくするためにはどうしたらよいか」などを考え、今回の経験を次に生かすことです。

学習でも同じことが言えます。登校する前や授業中の子供たちは、「？」の状態です。勉強する前は、誰もが分からないものです。授業中にいろいろな疑問が出てきます。

「何でこうなるんだろう？」「こうやったらどうだろう？」「うまく説明できないな？」などといった多くの「？」があります。授業を通して多くのことを学び、考えることにより分かるようになります。その結果、「！」につながるのです。

「そうか！」「分かった！」「なるほど！」「よし。次はこうしてみよう！」

など、学習内容の理解を深め、さらなる次への関心・意欲につながっていきます。子供たちには、今まで学習したことや経験したことを生かし自分の考えや思ったことを積極的に発表し、友達の考えと比べ理解を深めていけるようにしたいです。「失敗を恐れず挑戦する」そして「経験を次に生かす」ことが大切です。

仲町小学校の子供たちが、「？」から「！」へと繰り返し、たくさんの「！」を積み重ねていくことができるようにしたいです。

保護者と地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。